

魅力ある林業の構築と健全な森づくりをめざして

平成 23 年度版「富山県森林・林業白書」

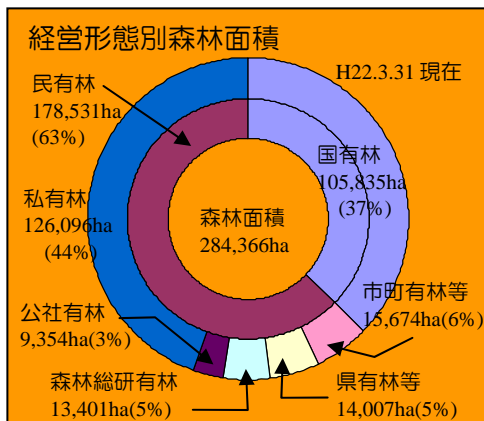


森林ボランティアによる森づくり活動（立山町野沢地内）

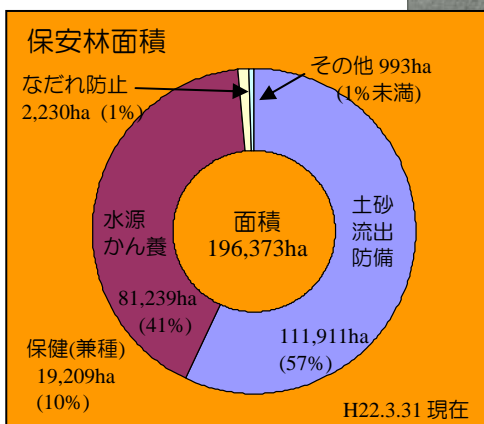


作業道を活用して搬出したスギ間伐材（南砺市西明地内）

I 富山県森林・林業の姿



本県の森林面積は 284 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めており、比率は全国平均とほぼ同じとなっています。

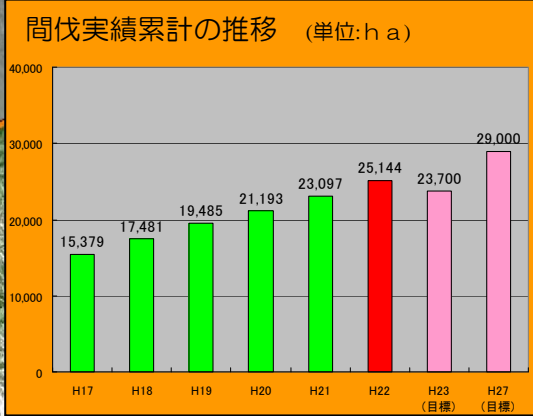


公益上保全が必要な森林を対象に保安林に指定しており、保安林率は全国第 1 位の 69.0% となっています。

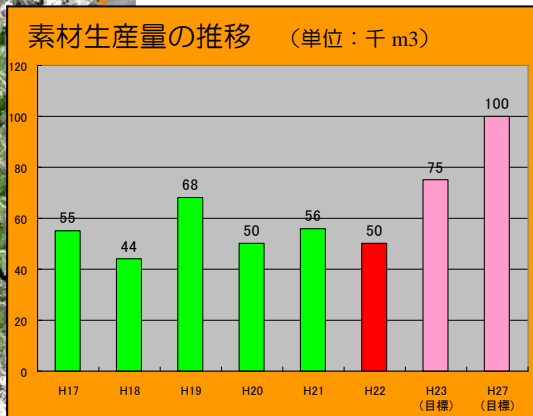
目次

I 富山県森林・林業の姿	1
II 富山県森林・林業振興計画のポイント	3
III 計画実現のための重点対策と 平成 22 年度の主な取組み	5
1 県民参加による多様な森づくりの推進のための重点対策	
2 魅力ある林業の構築のための重点対策	
IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と実績	14
V 平成 22 年度の森林・林業に関する主な出来事	15

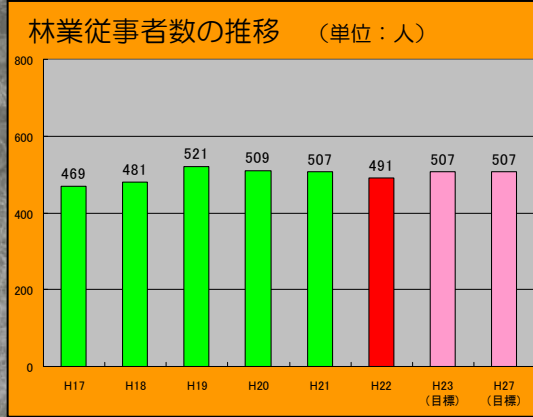




地球温暖化防止に向けた、二酸化炭素の吸収源対策として、間伐を重点とした森林整備を推進しています。



新設住宅着工戸数の減少や、木材・木材製品価格の低迷により、素材生産量は停滞しています。



間伐を重点とした森林整備の推進により、林業従事者は減少傾向から横ばいで推移しています。

カシミール3D : Copyright (C) 1994-2006 SUGIMOTO Tomohiko
 スカイビュースケープ : デジタル・アース・テクノロジー(株)

II 富山県森林・林業振興計画のポイント

本県森林・林業の現状と課題

目標

基本施策

施策の体系

とやまの森

- ・里山が活用されなくなっている
- ・人工林の適切な管理がされなくなっている



- ・富山県森づくりプランに沿った森づくり

森林施業と林業生産

- ・林業生産コストが高く、木材価格が低迷し、林業生産活動が低下
- ・地球温暖化防止対策の推進



- ・施業集約化団地の形成による林業の低コスト化の推進
- ・路網整備の推進
- ・間伐等森林整備の推進

県産材の利用促進

- ・県産材の流通が複雑・高コスト
- ・生産された県産材が十分に活用される体制が整っていない



- ・流通の低コスト化
- ・県産材製品を供給する製剤工場等の体制整備
- ・県産材利用の促進と木の良さの普及啓発

人づくり

- ・林業担い手の減少
- ・森林ボランティアによる森づくり活動の取組拡大



- ・施業集約化など低コスト化推進に必要な森林技術者の養成
- ・担い手としての森林組合の経営基盤の強化
- ・県民全体で支える森づくりの体制整備
- ・技術開発と普及指導の推進

山を守る

- ・山村の人口減少、高齢化の進行
- ・近年、豪雨災害などが頻発
- ・カシノナガキクイムシによるナラ類の被害量が急増している



- ・生活環境の整備と産業の振興
- ・山地災害対策の推進
- ・森林病害虫防除対策の推進

魅力ある林業の構築と健全な森づくりをめざして

1 森を活かす

- 1 多様な森づくりの推進
(富山県森づくりプラン)
・「生産林」「混交林」「里山林」「保全林」の区分に応じた森林整備

- 2 地球温暖化防止に向けた森林整備

- 3 健全な人工林の育成と生産基盤の整備
・健全な人工林の育成
・林業生産コストの低減と森林・山村を守る路網整備

- 4 森づくりを支える県民意識の醸成

- 5 県産材の安定供給体制の整備
・県産材の生産・流通体制の整備
・需要者ニーズに対応した加工体制の整備

- 6 県産材の利用拡大
・県産材の利用の拡大生産・流通体制の整備
・木質バイオマスの利用促進

- 7 担い手の確保・育成
・林業担い手センター等による担い手の確保と定着への支援
・林業カレッジによる担い手の育成

- 8 経営基盤の強化
・森林組合の経営基盤の強化
・農林水産公社の経営改善
・県営林の適正な管理・経営

- 9 森林ボランティア活動への支援

- 10 技術開発と普及指導の推進
・技術開発の効率の推進
・普及指導の推進
・県民への情報提供

- 11 魅力ある山村づくり
・生活環境の整備や定住環境の向上
・特産林産物の生産振興

- 12 森林の適正な管理と保全

- 13 防災対策等の推進

2 木を使う

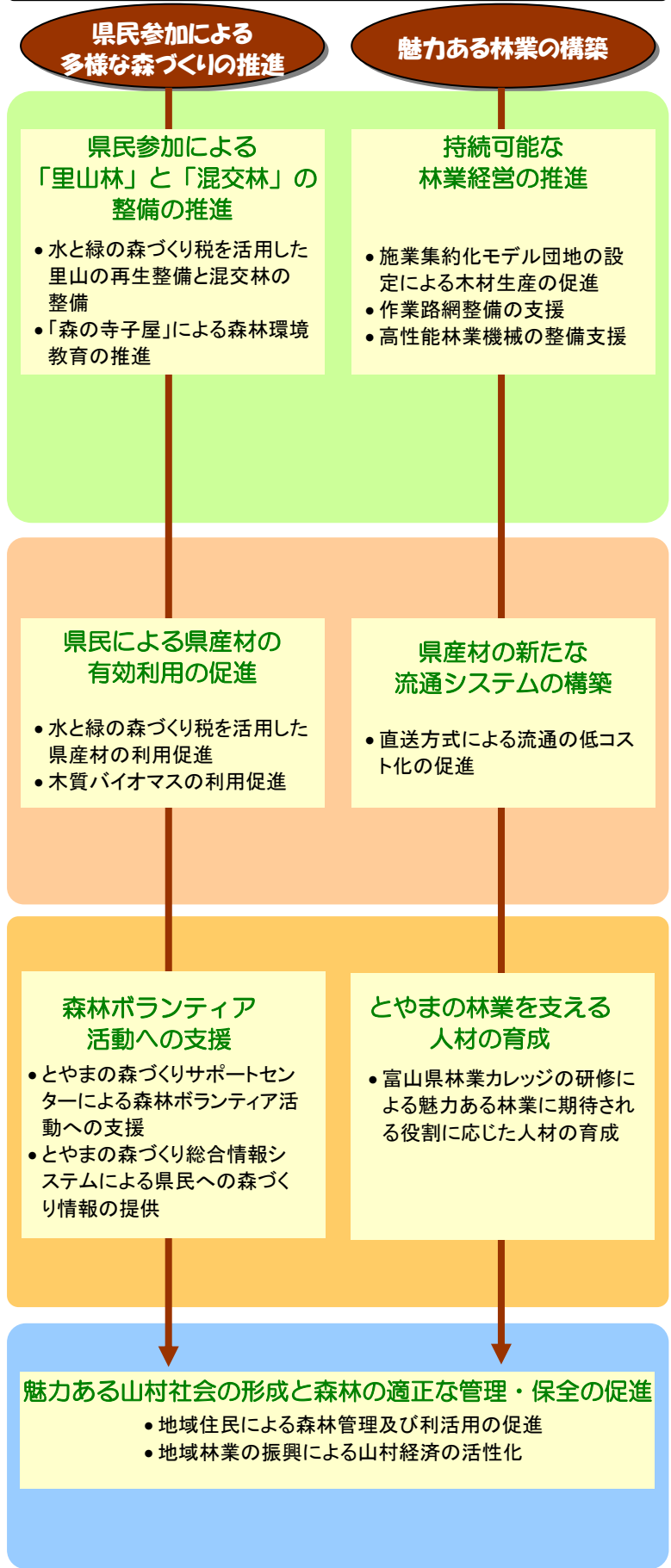
3 人を育てる

4 山を守る

平成22年度の主な取組内容

計画実現のための重点対策

- 水と緑の森づくり推進事業
 (新) 県民参加の森づくりフェア開催
- 里山再生整備事業
- みどりの森再生事業
- 造林事業・県単独森林整備事業
- 元気な森再生事業・林道事業
- 森林吸収源対策モデル事業
- 路網整備地域連携モデル事業
- 森林境界明確化支援事業
- 高性能林業機械等整備助成事業
- 施業集約化推進事業
 (集約化計画策定の支援など集約化の推進)
- 森林整備地域活動支援交付金事業
- とやまの森づくり普及啓発推進事業
- 木材産業体質強化緊急対策事業
- 流通経費支援事業
- 木材加工流通施設整備事業
- 県産材等需給量拡大事業(販路拡大支援)
- とやまの木で家づくりモデル事業
 (県産材使用住宅の新築・増改築への支援)
- くつつろ木空間整備促進事業
 (県産材使用公共施設の木質化への支援)
- 地域材利用開発事業・とやまの木PR事業
- 県産材利用促進事業(県産材遊具の開発)
- 木材技術開発研究費(木質ペレット化等)
- 林業担い手センター活動推進事業
- 富山県林業カレッジ運営推進事業
 (低コスト生産を担う人材の育成)
- 森林組合指導事業
- 林業構造改善対策事業
- 公営造林推進費、県営林造成事業
- とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業
 (登録ボランティア団体の活動強化)
- 森林・木材技術開発推進費
- 林業普及指導推進事業
- スギ花粉発生源対策事業(優良無花粉スギの生産)
- とやまの森づくり総合情報システム事業
- フォレストコミュニティ総合整備事業
- 特用林産対策事業
- 保安林整備管理費
- 森林病虫害防除事業・里山再生整備事業
 (カシノナガキクイムシの防除・枯損木除去)
- 森林病虫害緊急対策事業(被害の予防)
- 治山事業(復旧・予防・海岸・保安林整備等)



※ 青地は、「県民参加による多様な森づくりの推進」のための重点取組
 ※ 赤字は、「魅力ある林業の構築」のための重点取組
 ※ (新)はH22新規事業 (水)は水と緑の森づくり事業 (富)は富山県森林整備・林業再生基金を活用した事業

Ⅲ 計画実現のための重点対策と平成 22 年度の主な取組み

1 県民参加による多様な森づくりの推進のための重点対策

「森を活かす」ー県民参加による「里山林」と「混交林」の整備の推進ー

- 「里山林」や「混交林」の整備については、県民参加による森づくりの観点から、水と緑の森づくり税を活用し、進めることとします。
 - ・ 「里山林」は「里山再生整備事業」により、地域住民等との協働により整備を進めます。
 - ・ 「混交林」は「みどりの森再生事業」により整備を進め、この混交林の整備に必要な県産広葉樹苗の育成やその植栽の一部についても、県民参加により進めることとします。
- 「森づくりを支える県民意識の醸成」については、水と緑の森づくり税を活用した「とやまの森づくり普及啓発推進事業」により、フォレストリーダーが指導する「森の寺子屋」（出前講座や森林教室）を開催します。

[平成 22 年度に講じた施策]

- 水と緑の森づくり税を活用した「里山林」の整備
- ① 市町村、地域の皆さんとともに、集落周辺の里山の広葉樹林や竹林など再生整備に取り組みました。
【実績】・97 地区（13 市町）846ha
・地域住民等の参加人数 3,602 人
 - ② 主要道路沿線などで、カシノナガキクイムシの被害を受けた枯損木を除去しました。
【実績】・37 地区（14 市町）2,630m³

地域住民による里山林の整備



◎ 整備事例：黒部市下立地区
〈里山整備前〉



〈里山整備後〉



〈地域住民による管理・利用〉



- ③ 竹林の適切な管理を進めるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に竹林の管理や新たな利用方法の体験を行いました。

【実績】

- ・かぐや姫の里のデビュー講座の開催
（穂先タケノコなど新たな利用方法の指導など）
6月5日 75名参加
- ・とやまの竹資源ネットワークの活動
平成23年3月末現在 94 団体参加
竹材回収車（かぐや竹舟号）の運行案内、調整
竹資源の利用講習や穂先タケノコの調理実習等
- ・かぐや姫の里の集いの開催
（竹林の管理技術、竹材の利用方法などの体験）
10月30日 159名参加
- ・「とやまの穂先タケノコ調理パンフレット」作成
10,000部配付（県栄養士会、県調理師会、直売所など）

とやまの竹資源ネットワーク講習会



● 水と緑の森づくり税を活用した「混交林」の整備

- ① 風雪被害林を受けた人工林や、手入れ不足で過密となった人工林をスギと広葉樹の混交林に誘導するための整備を実施しました。

【実績】・風雪被害林の整備 38.7ha ・過密人工林の整備 173.6ha

- ◎ 整備事例：南砺市砂子谷 地内（過密人工林整理）

〈整備前〉



〈整備後〉



〈広葉樹の侵入〉



- ② 混交林の整備などに必要な県産広葉樹苗を県民の皆さんとともに育てる「みどりの里親事業」を実施し、幅広い植樹活動に使用しました。

【実績】

- ・とやまの森づくりサポートセンターでコナラ、クリ、クヌギなどの広葉樹苗 30,000 本を育成

企業の森づくり活動（県産広葉樹苗の植栽）



● 「森の寺子屋」などによる森林環境教育の推進

- ① 県民の森づくりの理解を深め、県民参加を推進するため、フォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催しました。

【実績】・「森の寺子屋」の開催 88 回

- ② 森林ボランティア団体等の表彰と、「水と緑の森づくり事業」に取り組んでいる団体が参加する、見て触れて、体験し、交流する「県民参加の森づくりフェア」を新たに開催しました。

【実績】・5月28日射水市太閤山ランドで開催 約 2,000 人参加

森の寺子屋の開催



県民参加の森づくりフェアの開催



[平成 23 年度に講じる施策]

● 水と緑の森づくり税を活用した里山林の再生整備と混交林の整備

- ① 地域住民との協働による里山林の整備、風雪被害林や過密人工林などをスギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を進めます。
- ② 竹林の利活用を推進するための「かぐや姫の里づくり体験」や竹資源ネットワークへの支援、里山整備地区ごとに森づくり活動の中心となる里山リーダーを養成します。

● 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進

「森の寺子屋」では、平成 20 年度に作成した「とやま森の教本」を積極的に活用するとともに、県産材を使ったプランターなどの大型工作メニューの追加など、内容の充実を図ります。

「木を使う」ー県民による県産材の有効利用の促進ー

- とやまの森づくりにつながる県産材の有効利用を県民とともに進めるため、「県産材アドバイザー」の活動支援などの従来からの取組みに加え、県産材住宅への助成など、県産材を利用した住宅建設の促進に取り組めます。
- 水と緑の森づくり税を活用し、県内で開催されるイベントへの1万ピースの県産材積み木の貸し出し、生徒・学童机天板の県産材への置換えや公共施設等の内装木質化への支援などにより、県民にとやまの木の良さを分かってもらえるよう、積極的なPRに努めます。

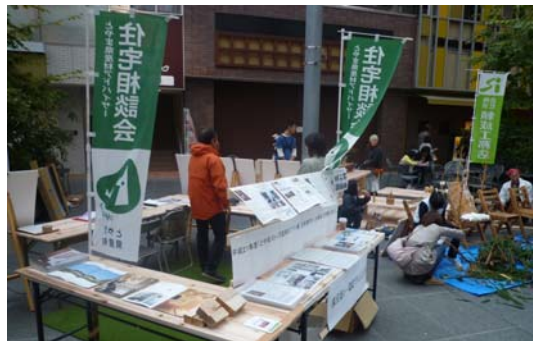
[平成 22 年度に講じた施策]

- とやまの木で家づくりモデル事業
県産材を活用した住宅の新築・増改築に対する助成制度を新たに創設しました。
(補助単価 5 千円/m³~2 万円/m³)
【実績】
 - ・ 助成棟数 78 棟
- 県産材のアドバイザーの活動促進
県産材の良さや使い方をアドバイスする「とやま県産材アドバイザー」の活動を支援しました。
【実績】
 - ・ 住宅相談会の実施 19 箇所
 - ・ フォローアップ研修の開催 1 回
 - ・ 県産材住宅のホームページ「とやまの木のいえ」
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/kinoie/index.html>
- 水と緑の森づくり税を活用した県産材の利用促進
とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設の木質化を支援しました。
【実績】
 - ・ 県民サロン等に県産材製品を設置
 - ・ とやま県産材遊具貸出 22 回
 - ・ 県産材こどもの城づくり事業（屋外遊具の設置）2 箇所（同朋幼稚園、新湊中部保育園）
 - ・ 森に親しむ学び舎づくり事業
学童用机天板の置換え 7 校（588 枚）
特別支援学校用机・椅子の開発
 - ・ 木の香るまちづくり事業（内装木質化）1 施設
 - ・ とやま木育推進事業（県産材遊具の開発）5 作品

モデル事業を活用した県産材住宅



県産材アドバイザーによる住宅相談会



とやまの木を使った遊具の開発



[平成 23 年度に講じる施策]

- 県産材を利用した住宅建設の促進
県産材を使用した住宅の新築又は増改築に助成します。
- 水と緑の森づくり税の活用などによる『木育』の推進
県産材を用いた特別支援学校用の机・椅子や幼児用遊具の配付などにより、木を身近に使うことで、人と木と森との関係を積極的に考えられる豊かな心を育む『木育』を推進します。
- 木材利用の一層の促進
住宅、家具、建具など木材利用を一体的にPRするイベントを開催します。

「人を育てる」ー森林ボランティア活動への支援ー

- とやまの森づくりサポートセンターを通じたボランティア団体や企業による森づくり活動を支援します。
- 「とやまの森づくり総合情報システム」を活用し、とやまの森の現状や、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を県民にPRすることで、県民参加による森づくり活動の裾野拡大を進めます。

[平成 22 年度に講じた施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援

- ① ボランティア団体等と森林所有者との橋渡し
- ② 登録会員のPRパネルの作成・展示
- ③ 情報提供や新規団体等の相談窓口の設置
- ④ 安全機器や林業用具の貸出、保険料の支援
- ⑤ 技術研修（森づくり塾）の開催
- ⑥ 登録団体の交流支援など

【実績】

- ・平成 23 年 3 月末現在登録団体等
75 団体（3,933 人）、個人 75 人、43 企業

- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供
とやまの森づくりホームページにより、「水と緑の森づくり事業」の実施状況を情報発信しました。

【実績】

- ・とやまの森づくりホームページで公開した情報
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>
アクセス件数 29,230 件(平成 23 年 3 月 31 日現在)

伐採木竹を処理するチップパーの貸し出し



技術研修（森づくり塾）の開催



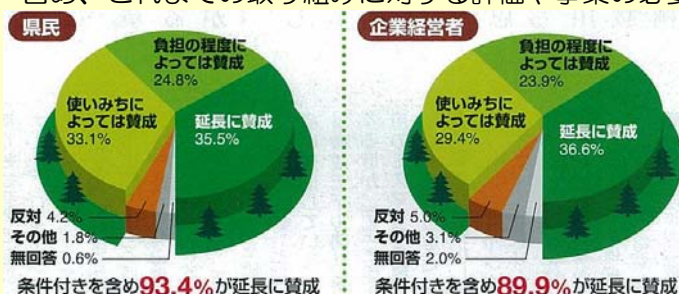
[平成 23 年度に講じる施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援
登録ボランティア団体の自主的な安全講習会開催への支援など引き続き活動強化を進めます。
- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供
とやまの森づくりホームページを通じて、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を提供します。

トピックス 水と緑の森づくりに関する県民等の意識調査

これまで取り組んできた森づくりと今後の森づくりの取り組み、森づくり税のあり方について、県民及び企業経営者の意識調査を実施しました。

23 年度までとなっている森づくり税の延長や事業の継続について、賛成の回答が 9 割程度を占め、これまでの取り組みに対する評価や事業の必要性の認識が表れているものと伺えます。



	県民意識調査	企業経営者意識調査
標本数	2,500	1,000
調査期間	11月6～15日	12月1日～10日
回収数(率)	1,366 (54.6%)	456 (45.6%)

2 魅力ある林業の構築のための重点対策

「森を活かす」ー持続可能な林業経営の推進ー

- 間伐材等の県産材を利用することにより、森林整備に必要な資金を森林所有者に還元し、“植える（植栽）→育てる（保育）→収穫する（伐採）”という「循環する森づくり」を進め、森林整備を促進します。
 - ① 施業集約化モデル団地の設定による木材生産の促進
 - ② 低コスト作業路網の整備や、高性能林業機械の整備支援

[平成 22 年度に講じた施策]

- 富山県森林整備・林業再生基金の活用
富山県森林整備・林業再生基金（H21 年 6 月設置、総額約 23 億円）を活用し、川上では、施業集約化団地での間伐や作業路網、高性能林業機械の整備により持続可能な林業経営を推進するとともに、川下では、木材加工流通施設の整備や公共施設の内装木質化、地域材利用開発など、県産材の利用促進に重点的に取り組んでいます。

- 施業集約化による木材生産の促進
施業の集約化を進めるためには森林所有者の特定や境界の明確化が前提となることから、境界や所有者が不明で整備が進まない森林において、森林境界の明確化作業に対して支援しました。

【実績】

- ・ 施業集約化団地数…………… 70 箇所
- ・ 森林境界明確化面積……… 426 ha

- 作業路網及び高性能林業機械の整備
 - ① 県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、素材生産等施業を効率的に行うためのネットワークとなる作業道や作業路の整備に支援しました。

【実績】

- ・ 作業道開設…………… 29km
- ・ 作業路開設…………… 97km

- ② 県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、効率的に伐採等作業を進めるため、高性能林業機械の導入に支援しました。

【実績】

- ・ ハーベスタ 3台 ・ スイングヤード 1台
- ・ フォワーダ 2台
- ・ グラッブル付トラック 2台

森林所有者等による森林境界明確化作業



施業集約化を促進する作業道



トピックス 富山県公共建築物等木材利用推進方針

「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律（平成 22 年 10 月施行）」に基づき、県では、「富山県公共建築物等木材利用推進方針」を策定（平成 23 年 4 月）しました。

県内の公共建築物のうち、低層建築物については建築物の性格を勘案しながら積極的に木造化・内装木質化を進め、その他の建築物については、木質化が適切と判断される部分の内装木質化を進めることとしています。

また、公共建築物以外の公共土木工事においても、木製ガードレール、木製残存型柵等の導入を促進します。

- 地球温暖化防止に向けた森林整備の推進
二酸化炭素の森林吸収量確保に向け、スギ人工林の間伐や広葉樹林の整備など森林整備を進めました。
(平成19年度から6年間で12,700haの森林整備を実施することとしています。)

【実績】

・ 造林事業	943 ha
・ 治山事業	171 ha
・ 水と緑の森づくり事業	358 ha
・ 県単独森林整備事業等	100 ha
・ 森林吸収源対策モデル事業	497 ha
・ その他(森林総研造林等)	161 ha

計 2,230 ha (H19~22の4年間で9,025 ha実施)

間伐を実施したスギ人工林



[平成23年度に講じる施策]

- 施業集約化による木材生産の促進
森林境界明確化作業など施業集約化への支援を実施し、取り組みの拡大を進めます。
- 作業路網及び高性能林業機械の整備
施業集約化に取り組む地域での作業路網や高性能林業機械の整備を重点的に支援し、林業の生産性向上を目指します。
- 間伐等森林整備の推進
二酸化炭素の森林吸収量を確保するため、引き続き、間伐等の森林整備を推進します。

「木を使う」ー県産材の新たな流通システムの構築ー

- 県産材の安定的供給体制の構築を図るため、流通コストの低減と県産材の利用拡大を目指した体制づくりを進めます。
- 新たな流通システムの構築のため、出材者から製材工場関係者間で合意形成を図ります。

[平成22年度に講じた施策]

- 県産材の流通体制の整備
- ① 「富山県森林整備・林業再生基金」を推進する協議会の中で、出材者と製材関係者との県産材安定供給の締結に向けた具体的な協議を進めました。
協定が締結されたもののうち、新たな木材加工施設整備が必要な施設については、「森林整備・林業再生基金」を活用して支援しました。

【実績】

・ 木材加工施設整備	3箇所
・ 山元貯木場整備	1箇所

- ① 緊急雇用対策の支援制度を活用し、県産材の活用促進のため、森林組合、素材生産業、製材業、工務店などの異業種連携への支援や県産材を使用した住宅のPRを実施しました。

【実績】

- ・ 異業種間交流による先進地視察、セミナーの開催
- ・ とやまの木の家オープンハウスの開催

再生基金により整備した木材加工施設



[平成23年度に講じる施策]

- 流通の低コスト化
 - ・ 安定取引協定の締結などによる出材者と製材関係者との連携と合意形成を進めます。
 - ・ 木材製材施設等木材加工流通施設整備を支援し、取組みの拡大を進めます。

「人を育てる」ーとやまの林業を支える人材の育成ー

- 林業カレッジの研修により期待される役割に応じた人材の育成を図ります。
 - ① 路網計画（低コスト作業路を含む）や長伐期施業計画、さらには森林収支計画などの総合的な広域プランを立てることのできる人材（森づくりプロデューサー）の育成
 - ② 低コスト作業道の開設など、県産材の低コスト生産を担う技術者の育成
 - ③ 民間事業者に対する技術的指導

[平成 22 年度に講じた施策]

- 富山県林業カレッジの研修による期待される役割に応じた人材の育成
 - ① 路網計画や長伐期施業計画、森林収支計画などの総合的な広域プランを作成することのできる技術者を養成しました。
【実績】研修期間 10 日間、5 名養成
 - ② 施業地に適応する伐採・搬出の作業システムに対応した簡易で耐久性のある低コストな作業道を開設する技術者を養成しました。
【実績】研修期間 10 日間、5 名養成
 - ③ 高性能林業機械のメンテナンス技術の習得、及び高度で熟達した機械操作技術の習得のための研修を実施しました。
【実績】研修期間 5 日間、5 名受講
 - ④ 架線集材など高度な林業現場に従事する際に必要な技能習得のための研修を実施しました。
【実績】研修期間 35 日間、11 名受講
 - ⑤ 林業への就業を支援する講習を実施しました。
【実績】講習期間 18 日間、15 名受講
うち 3 名が県内の林業事業体に就業しました。
 - ⑥ 緊急雇用により森林作業に従事され、林業に就業希望する方や、就業されて間もない方を対象に林業に必要となる基礎技術の習得研修を実施しました。

- 【実績】
- ・ 第 1 回研修会 5 月 10 日～21 日
参加人数 10 名
 - ・ 第 2 回研修会 1 月 6 日～20 日
参加人数 10 名

低コスト作業道のルート選定実習



高性能林業機械のメンテナンス実習



緑の雇用基本研修



[平成 23 年度に講じる施策]

- 期待される役割に応じた人材の育成
県産材の低コスト生産を担う技術者の育成研修など、引き続き富山県林業カレッジ研修への支援を実施します。
- 林業への新規就業者の拡大
緊急雇用対策の支援制度を活用し、林業への新規就業につなげます。

「山を守る」－魅力ある山村社会の形成と森林の適正な管理・保全の促進－

[平成 22 年度に講じた施策]

- 山のみち地域づくり交付金事業の取組み
森林整備の促進や山村地域における生活環境の改善を図るため、地域の骨格的な林道となる「山のみち」を整備しました。

【実績】路線ごとの開設延長

・宮崎・蛭谷線	0.9 km	
・福平・東城線	0.6 km	
・有峰線	0.4 km	
・大沢野・八尾線	0.2 km	
・上平・福光線	0.6 km	計 2.7 km



山村環境を改善する林道

- 保安林の適正な管理
 - ① 公益上必要な森林について保安林に指定しました。
 - ② 保安林管理を強化するために、保安林等調査員を 8 名設置し、森林被害や保安林標識の破損等の調査を実施しました。

【実績】保安林種ごとの指定面積

・水源かん養保安林	16.8 ha	
・土砂流出防備保安林	34.8 ha	
・なだれ防止保安林	69.9 ha	
・その他保安林	0.9 ha	計 122.4 ha



適正に管理されている保安林

- 森林病害虫に対する適切な防除の実施
 - ① 県下全域へと被害が拡大したカシノナガキクイムシを防除するため、地域住民と関わりが深い箇所等で、被害木の伐倒駆除等を実施しました。
 - ② 海岸保安林など保全すべき松林を松くい虫被害から守るため地上散布や伐倒駆除を実施しました。

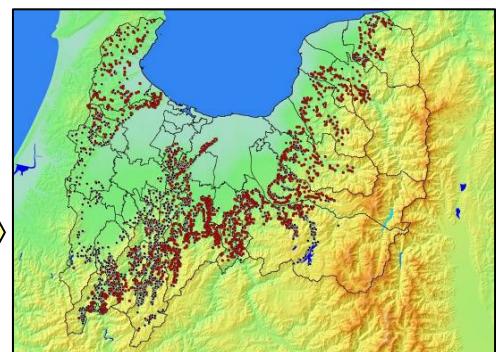
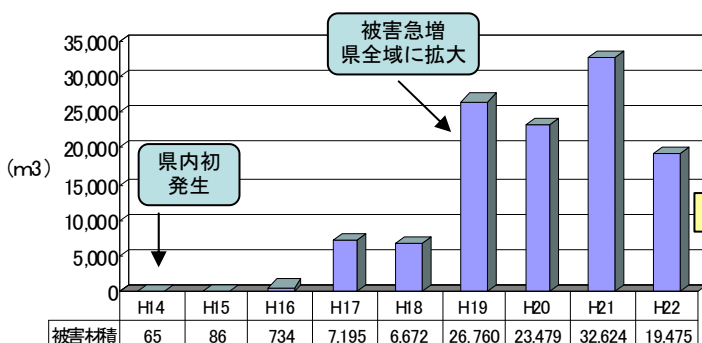
【実績】

・カシノナガキクイムシ対策		
伐倒駆除	14 市町	633 m ³
樹幹注入	8 市町	5,644 本
過年度枯損木除去	14 市町	2,630 m ³
(枯損木除去には水と緑の森づくり税を活用)		
・松くい虫対策		
薬剤地上散布	2 市町	27 ha
伐倒駆除	6 市町	93 m ³
樹幹注入	4 市町	387 本



カシノナガキクイムシ防除（樹幹注入）

○ カシノナガキクイムシの被害状況の推移



赤い点がH22 かが 被害地

● 災害に強い山づくりの推進

「災害に強い山づくり検討委員会(H21.3)」からの土石流や流木災害の未然防止・軽減に関する対策についての提言を受け、災害に強い山づくりを目指し、治山施設の整備、山地災害危険地区の電子データ化、ハザードマップの作成等、ソフト・ハード両面から整備を進めました。

【実績】

- ・ 治山事業（南砺市他 12 市町 106 箇所）
- ・ 溪畔林整備指針策定調査
- ・ 治山施設台帳電子化 など

災害に強い山づくりの推進（黒部市）



● 水源の森林づくりの推進

県民生活に安定的な水を供給するため、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、本数調整伐等の森林整備を実施しました。

【実績】

- ・ 水源地域整備事業（南砺市他5市町 13 箇所）

同上近景（宇奈月温泉：尾沼谷）



● 山地災害危険地区の整備の推進

災害防止のため、治山施設の設置と周辺森林の整備等を一体的に実施しました。

【実績】

- ・ 復旧治山事業（朝日町他8市町 17 箇所）
- ・ 予防治山事業（氷見市他4市町 12 箇所）
- ・ 地域防災対策総合治山事業（黒部市他 1 町 2 箇所）

● 雪害防止対策の推進

なだれ防止林の維持・造成に努めるとともに、なだれ危険箇所に予防柵等を設置し、防止対策を実施しました。

【実績】

- ・ なだれ防止林造成事業（富山市 1 箇所）

海岸保全対策の推進（入善町海岸）



● 海岸保全対策の推進

飛砂、潮風、強風等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の造成及び保育等の維持管理を実施しました。

【実績】・ 海岸防災林造成事業（入善町 2 箇所）

[平成 23 年度に講じる施策]

● 山のみち地域づくり交付金事業への取組み

路線毎に重点整備区間を設定し、予算の集中化により、事業効果の早期実現に努めます。

● 森林病害虫に対する適切な防除の実施

カシノナガキクイムシや松くい虫の被害拡大を防止するため、引き続き被害木の伐倒駆除や保全すべき樹木への薬剤注入を実施します。また、新たに合成フェロモンを用いた「おとり丸太」による防除対策をモデル的に実施します。

● 災害に強い山づくりの推進等

- ① 山地災害危険情報を住民へ周知し、住民の安全確保を図ります。
- ② 治山施設情報を活用し既存治山施設の適切な管理による豪雨時等の被害軽減に努めます。
- ③ 保安林等調査員の調査結果を、災害の早期復旧や保安林管理の適正化に役立てます。

IV 富山県森林・林業振興計画目標指標と実績

区分	指標番号	指標名	単位	実績		目標	
				基準年 (H17)	H22末	中間目標 (H23)	終期目標 (H27)
森を活かす	1	間伐実施面積（累計）	ha	15,379	25,144	27,000	29,000
	2	混交林の整備（H19～）	ha	—	480	1,000	2,000
	3	里山林の整備（H19～）	ha	—	1,218	1,000	2,000
	4	保安林の指定面積 （民有林）	ha	(H18) 91,410	91,985	91,900	92,300
	5	富山県森林吸収量確保推進 計画（H19～H24）	ha	—	9,025	10,580	(H24) 12,700
	6	施業集約化団地数 （累計H20～）	箇所	—	70	100	150
	7	林道延長（累計）	Km	1,655	1,694	1,720	1,763
	8	作業道延長（累計）	Km	877	1,160	1,258	1,615
		林内路網延長（累計）	Km	4,647	4,971	4,987	5,088
林内路網密度		m/ha	26.1	27.8	28.0	28.5	
林道密度		m/ha	8.7	8.9	8.9	9.1	
9	「森の寺子屋」の年間開催 回数	回	(H19) 46	88	60	80	
木を使う	10	県産材素材生産量	千m ³	(H18) 44	50	75	100
	11	乾燥材生産量の割合	%	(H16) 11.5	39.7	23	29
	12	公共施設等に使用する木材 に対する県産材の割合	%	70.6	67.5	76	80
人を育てる	13	林業従事者	人	(H16) 507	491	507	507
	14	林業に従事する際に必要と なる資格保有率	%	(H19) 30.9	43.6	45.5	60.0
	15	低コスト作業路開設技術者 養成数	人	—	15	20	40
	16	森林組合数	組合	8	4	2	2
	17	分収造林契約変更済延人数	人・団	—	1,386	4,945	6,182
	18	県民参加による森づくりの 年間参加延べ人数	人	1,672	10,262	6,000	7,000
	19	研究の実用化件数 （H19以降の累計）	件	—	8	10	18
山を守る	20	年間キノコ生産量	トン	3,357	3,283	3,525	3,525
	21	山地災害危険地区着手数	箇所	1,213	1,263	1,246	1,266
	22	なだれ危険箇所における整 備箇所数	箇所	196	203	202	206
	23	海岸保安林整備延長	m	3,382	4,495	4,455	5,175

（注）間伐材の利用を加速化するため、指標番号1「間伐実施面積」、指標番号5「施業集約化団地数」及び、8「作業道延長」の目標値を上方修正しています。

V 平成22年度の森林・林業に関する主な出来事

4月19日	● 富山県水と緑の森づくり会議（第1回）
4月25日	● とやまの森づくりボランティア交流会〔南砺市才川七〕
5月28日	● 第11回とやま森の祭典〔射水市太閤山ランド〕
5月28日	● 県民参加の森づくりフェア〔射水市太閤山ランド〕
6月 5日	● かぐや姫の里デビュー講座〔氷見市大浦〕
6月13日	● 住まいを訪ねるオープンハウス
6月17日	● 富山県森林審議会森づくり部会（水と緑の森づくり事業の評価）
6月21日	● 富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第1回）
7月 1日	● とやまの森づくりサポートセンター運営委員会（第1回）
7月 4日	● とやま木の家見学会〔富山市など3箇所〕
7月11日	● 飛越源流の森づくり2010・夏〔岐阜県飛騨市〕
7月28日～30日	● 花とみどりの少年団体体験学習〔立山青少年自然の家〕
8月 2日	● 草刈り十字軍入山式〔富山市富岩運河環水公園〕
8月 7日	● こどもの城づくり「森の見学会」〔富山市割山森林公園〕
8月24日	● 花とみどりの少年団リーダー研修〔富山市呉羽少年自然の家〕
8月26日～27日	● 第31回中日本入会林野研究会大会〔黒部市〕
9月1日、15～16日	● 県産材アドバイザー養成研修（第1回）〔富山県中央植物園ほか〕
9月18日	● とやまの森づくりボランティアの集い〔立山町総合公園〕
10月 2日	● 森づくりタウンミーティング（第1回）〔富山市〕
10月 3日	● 飛越源流の森づくり2010・秋〔岐阜県高山市〕
10月 8日	● 富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第2回）
10月 8日～9日	● とやま木と住まいフェア2010〔富山県木材研究所〕
10月16日～24日	● 秋のオープンハウス in とやま
10月30日	● かぐや姫の里の集い〔砺波市芹谷〕
11月 7日	● 森づくりタウンミーティング（第2回）〔高岡市〕
11月 7日	● こどもの城完成式〔滑川市、射水市〕
11月 9日	● 富山県森林審議会森林保全部会（林地開発の許可）
11月10日	● 県産材アドバイザー養成研修（第2回）〔富山県木材研究所〕
11月12日	● とやまの森づくりサポートセンター運営委員会（第2回）
11月16日	● 富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第3回）
11月19日	● 山のみち大沢野八尾線トンネル安全祈願祭〔富山市〕
12月 2日	● 富山県水と緑の森づくり会議（第2回）〔富山市〕
12月18日	● 森づくりタウンミーティング（第3回）〔魚津市〕
平成23年	
1月 7日	● 林業担い手新規参入者情報交換会〔富山市〕
2月10日	● 富山県森林審議会総会〔富山市〕
2月26日	● とやまの竹資源ネットワーク講習会〔射水市〕
3月 5日	● フォレストリーダースキルアップ研修
3月10日	● とやまの森づくりサポートセンター懇話会
3月14日	● 富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第4回）
3月16日	● 県産材アドバイザーフォローアップ研修〔射水市〕

お問い合わせ先 富山県森林政策課
 〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL(076)444-3385
 富山県森林・林業振興計画は下記からダウンロードできます。
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/kj00006992.html